

循環器 CASE REPORT



研究から創薬へ

布廣 龍也



心臓血管内科診療部長
兼 長崎大学医学部臨床教授

2024年が始まりました。まず病気についてのクイズ、正しいのはどれでしょう。

①日本人の死因第一位はがんであるが、動脈硬化性疾患(心筋梗塞・狭心症など冠動脈疾患や、脳梗塞などの脳血管疾患)による死亡が総死亡数の約22%を占め、がんによる死亡と匹敵する主要死因である。

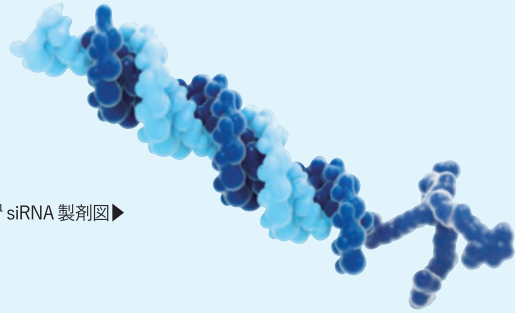
②世界的に心臓血管疾患は主要な死因であり、がん、慢性呼吸器疾患、糖尿病による死亡者数の合計より多い。

③心疾患死の主な原因である動脈硬化性心疾患は予防できる。

答えは全て正解「○」です。

驚くことに、赤ワイン摂取量の多いフランスと、日本以外の大多数の国々では、心臓血管疾患が死因第一位です。動脈硬化性疾患を予防するために、脂質異常症、高血圧、糖尿病の加療をはじめ、心不全発症予防も必要です。

先日、モデルの藤田ニコルさんが、家族性高コレステロール血症であることを公表しました。人口減でも将来死亡者数の増加が予測される動脈硬化性心血管死の原因である高コレステロール血症低下のための加療は今後も対策が必要です。当科が全国13施設と臨床研究に参加した高コレステロール加療の新薬が2023年12月に発売されました。欧州では2020年12月、米国では2021年12月に承認された薬剤です。昨年ノーベル賞でも話題となったコロナワクチンと同じメッセンジャーRNAに関連するsiRNA^{*1}製剤です。核酸医薬と呼ばれる医薬品の一つの注射薬で、希少疾患以外での適応は初めてです。年3回の注射と少ない回数での加療が可能です。治療は日進月歩です。安全に患者さんに還元できるように今後も臨床研究に努め、求められる医療を行っていきます。



*1 siRNA 製剤図▶



▲ 新薬への期待インタビュー(東京にて)



▲ 心不全アジア研究会(マレーシア・前列右端)

いつでもお気軽にご相談ください。

心臓血管内科 主任診療部長 武野 正義 ☎095-822-3251

